

はじめに

今日の地域福祉の現場では、人口減少や少子化・高齢化、高齢者を始めとした単身世帯の増加などにより、人間関係が大きく変化する中で、育児、介護、障がい、貧困などの課題を複合的に抱えていたり、生活の悩みを相談できず地域で孤立してしまうなど、課題が益々複雑化しています。

また、福祉へのニーズも多様化しており、地域で課題を解決していくためには、お互いに支えあい、共生していく社会の実現に向けた取組が求められています。

そのために、市民の皆様が地域の福祉課題を「自分ごと」として関心をもち、住民や地域・関係機関・団体及び社会福祉協議会等が世代や分野を超えてつながること、地域福祉の課題を解決していきたいと考えています。

こうした中、令和5年度から令和9年度までの5年間を計画期間とする「第4期柳井市地域福祉計画・柳井市地域福祉活動計画」を策定しました。本計画では、第Ⅲ期計画の基本理念を継承しつつ、「地域を支える人づくり」、「支えあい安心・安全に暮らせるまちづくり」、「支援のしくみづくり」の3つの活動目標のもと、柳井市社会福祉協議会との連携を密にし、地域の皆様や地域団体の皆様と協働を深めながら、計画を推進していくこととしています。

また、多様で複合的な課題や制度の狭間にある課題に対応する必要があることから、本計画の中で、柳井市成年後見制度利用促進基本計画を策定しました。

終わりに、本計画の策定に際しましては、市民アンケート調査や地区関係者との懇談会などでの貴重なご意見を踏まえ、柳井市地域福祉計画推進会議と柳井市地域福祉活動計画策定委員会で審議を重ねてまいりました。ご協力いただきました皆様に心より感謝いたしますとともに、市民の皆様にはなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年3月

柳井市長

井原健太郎

～第4期柳井市地域福祉活動計画策定にあたり～

近年、少子高齢化の進行や地域の繋がり希薄化、多発する災害など、地域社会を取り巻く環境が大きく変化し、地域課題の複雑・多様化が懸念されています。加えて、令和2年からの新型コロナウイルス感染症の拡大は大きな影響を及ぼし、生活様式だけでなく、地域福祉活動のあり方についても大きな変化を求められるようになりました。このような中、住民、関係機関・団体が協働して地域福祉を推進していくための指針となる「第4期柳井市地域福祉活動計画」を策定しました。

本計画では、「地域を支える人づくり」「支えあい安心・安全に暮らせるまちづくり」「支援のしくみづくり」の3つの目標を掲げ、目標の充実を目指します。この実現は、「地域共生社会」の実現や「SDGs」の達成にも繋がると考えています。行政計画である「第4期柳井市地域福祉計画」と連携し、柳井市社会福祉協議会の基本理念である「共に支え合い えがおで暮らせる 福祉のまちづくり」を進めてまいりたいと思います。

この計画の策定にあたり、ご尽力いただきました柳井市地域福祉活動計画策定委員会委員の皆様をはじめ、ご意見をお寄せいただきました住民の皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。

令和5年3月

社会福祉法人 柳井市社会福祉協議会

会 長

杉 義 実 夫